



旅費制度の見直し！10月から施行！！

①車賃1 kmあたり15円→18円に改正！



②宿泊手当を新設！！

③通信連絡費（120円）の廃止。



＜2025年 湘南教職員組合 女性部定期大会＞



6月24日（火）藤沢市民会館小ホールにて、2025年度女性部定期大会が行われ、昨年度の活動の経過報告と、今年度の活動方針が承認されました。

代議員からは、今年度の4月より子の看護休暇の内容が拡充され「感染症に伴う学級閉鎖等、子の儀式的行事（入園入学式、卒園卒業式）への参加」が追加されたことを評価する声があがりました。一方、教職員未配置や産育休等代替者が見つからない等、人員不足による現場の苦しさはまだまだ続き、それによって権利を行使しづらく感じている方もいるという意見も出ました。私たちが、権利や制度を気兼ねなく行使できる働きやすい職場環境を目指して、引き続き県や国に声を届けていきます。

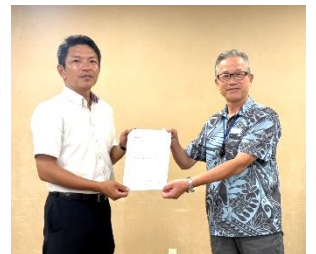
女性部の活動は、「女性の生活と働く上での権利を整える活動」「保護者と連携して、子どもの幸せを守る活動」「男女平等社会の実現を目指す活動」の3つを大きな柱としています。私たちの権利やその歴史については定期大会議案書をご確認ください。

執行委員から女性部担当を出し、活動するようになって7年目。湘南教育会館主催の「母女」に関しても、「母女をすすめる会」の役員を執行部分会から選出し、運営に関わっています。女性部運動を継続していくためには、女性執行委員の役割は重要です。引き続き各分会と連携しながら、女性執行委員の選出も積極的にすすめていきたいと考えています。

茅ヶ崎市教委との全体交渉・各課交渉

8月4日（月）、茅ヶ崎市教育委員会と「2026年度教育施策・予算に要求全体交渉・各課交渉」を行いました。

執行部からは、①人員確保（代替者の確保、市費任用職員など）②各校配当予算の増額③多忙解消・教育効果の向上（教育のDX化など）について要求しました。茅ヶ崎市の竹内教育長からは、「子どもたちへの支援、サポートする体制を整えていく必要があるということで積極的な予算を組ませていただいている。今年度のとりくみとして、小学校・中学校へのエアコン設置で健康被害を少しでも防ぎたい。給食費の公会計化により、先生方の負担軽減につながればという思いである。また、教員の働き方改革を最優先の喫緊の課題だと思っている。この歩みは止めることなく、様々な形でできるところはすすめていきたい。子どもたちに可能な限り快適な教育環境、必要な教育環境を整えていきたいという思いは教育委員会も全く同じ思いである。日々対話を重ねながらすすめていきたい。」とお話がありました。



藤沢市教委との全体交渉・要求

8月4日（月）、藤沢市教育委員会と「2026 年度教育施策・予算要求全体交渉、要求」を行いました。

執行部から①教職員の健康確保、快適な職場環境の実現 ②教職員の多忙解消 ③インクルーシブ教育に向けた条件整備 ④欠員による未配置への人員の確保、休職等に際する代替者の確保に向けた方策を講ずること等について要求しました。



藤沢市の岩本教育長からは、「教育委員会としては、課題が山積し多様化・複雑化している中、『学校教育藤沢ビジョン』をふまえ、①不登校の問題を支援教育の視点から、②いじめの問題を人権教育の視点から、③コミュニティスクールのとりくみの充実の3本柱でスタートしている。それ以外にも教員不足は喫緊の課題であり、教員採用試験の倍率も下がり、臨時任用が減り、課題は多いが、市として人材確保にとりくむとともに、県や国に対してより強い要望を続けていくこと。」等の話がありました。より良い教育活動のため、引き続き、分会要求、各課要求などの場で、学校現場の声をあげていきましょう。

鎌倉市教委との全体交渉

8月7日（木）、鎌倉市教育委員会と「2026 年度教育施策・予算要求全体交渉」を行いました。

執行部の総括質疑としては、①湘南教組との事前協議及び協力体制の確立について ②鎌倉市教育委員会の 2026 年度重点施策について ③教職員の多忙解消・労働環境改善に向けての具体的な対応について ④今後すすめられる教育施策についての4点を要求しました。



鎌倉市の高橋教育長からは、「現場を支えていけるような伴走型の教育委員会、教育長をめざしたい。教員定数改善については強く必要性を感じており、引き続き様々な場面を通じて県に要望していく。深刻な教職員不足については、ありとあらゆる手段を講じて人材の発掘及び確保に努める。来年度も、教職員のやりがいを支えられるような様々な施策をうっていく。」と回答がありました。新たな教育施策が、子どもたちのためになるには、現場教職員が理解し、学校が一体となってとりくむことが必要不可欠です。子どもの豊かな学びを保障し、教職員の主体性、創造性ある教育活動が展開されるよう、今後もみんなで一丸となってとりくむことが重要です。

寒川町教委との全体交渉

8月29日（金）、寒川町教育委員会と「2026 年度教育施策・予算要求全体交渉」を行いました。執行部からは、①労働安全衛生体制の確立②人的配置の拡充③教育予算の増額の3点を要求しました。



教育委員会からは、①教職員が教育活動に専念できるよう適切な職場づくりに向けて校務支援システム導入や給食の公会計化など学校の支援にとりくんでいる。今後も教職員の長時間勤務軽減や労働安全体制の確立に向けて教職員の声を聞き、働きやすい職場環境を充実できるよう努めていく。②今年度より特例補充教員を小学校で1名配置し、教務リーダーと教育相談コーディネーターの持ちコマ数の削減を行っている。他の学校への特例補充教員の配置の実現に向けて努力していく。③昨今の物価高騰への対応として今年度も各事業の消耗品費等について増額し予算措置を行っている。必要なものを購入できる予算になるように、次年度予算に向けても消耗品費の増額を要求し実現に向けて努力していく。と回答がありました。

夏の教育実践講座

◎子どもの姿勢を育てる5つの感覚

講師の^{さい}崔さんと荒川さんによる、理論と実践をまじえた講座を行いました。前半では、姿勢を正すために必要な要素として、座るときの姿勢や、身体感覚機能に関する基礎知識、特に五感の働きについて学びました。

後半は、感覚の統合を目的に、足踏みやひねり動作などを実際に行い、それらを組み合わせた10～20分間の有酸素運動を体験しました。これにより、集中力の向上や心身のリセットにつながることを実感することができました。

参加者からは、「座ったままでできる簡単な体ほぐし運動を取り入れてみたい」「リズム運動について、感覚を鍛える視点も意識して取り入れると良さそう」といった感想が寄せられ、今後の活動に活かせる有意義な講座となりました。



◎「学校が避難所になる日」 ～子どもたちの“明日”を守るために過去の災害から学ぶ～

東日本大震災、熊本地震、能登半島地震などの被災地支援に携わっているさかい内科・胃腸科クリニック院長の酒井さんをお招きし、子どもたちが災害時にも健康を守り、安全に過ごせるようにするための大切な視点についてご講演いただきました。



避難所での医療支援の様子や課題などを実際の様子から具体的にお話ししてくださったことで、災害時にどのような視点を大切にしていけばよいのか学ぶことができ、防災への意識を高めることができました。また、「マイノリティ（弱者）の視点を大切にすること」「子どもと女性を守ること」への大切さをお話いただき、災害時だけでなく平時から一人ひとりができることを考えて行動していきたいと思える講演会でした。

◎多様な個性の子どもと向き合う～発達特性の理解と教室でできる関わり方のヒント～

神奈川県発達障害支援センター・かながわA（エース）の飯山さんをお招きし、ご講演いただきました。

今回の講座を通して、改めて子どもたちの多様な個性と丁寧に関わることの大切さを実感しました。普段の教育活動の中では、どうしても「できる・できない」という視点で子どもを見てしまいがちですが、それぞれが持つ力や表現の仕方を理解しようと努めることが、安心できる学びの場につながるのだと学びました。これからは、一人ひとりの子どもの歩みに寄り添い、より落ち着いた姿勢で関わっていきたいと思える講座でした。

平和要請行動

7月24日（木）に、被爆80周年原水禁神奈川平和要請行動を鎌倉・茅ヶ崎・藤沢の各地で行いました。今年度も核のない平和な世界の実現を訴え、核廃絶・平和行政に係る要請書を各自治体に渡しました。



昨年、ノーベル平和賞が日本原水爆被害者団体協議会に授与され、「核兵器のない世界」の実現に向けた長年の努力が国際的に評価されました。しかし、世界ではいまだに平和への道のりは険しく、核を保有するロシアのウクライナへの軍事侵攻は収束の兆しを見せず、核兵器使用の恐怖と隣り合わせ

の状況が続いています。また、イスラエルとイラン・パレスチナの紛争も起こるなど、各地で争いが絶えません。世界で唯一の戦争被爆国である日本として、核兵器の悲惨さを風化させることなく後世に伝え続け、「核と人類は共存できない」ことを世界に発信していくことが重要です。

平和な未来の実現にむけて、ともにがんばりましょう。



【執行部のつぶやき】

毎日のくらしの中で、心と耳にした言葉や本の一節が印象に残ることがあると思います。私は、そんな言葉をメモに書き留めています。それらを読み返すと、不思議とその時々自分に寄り添い、元気をくれたり新しい気づきを与えてくれたりします。

山本有三の小説『波』には、主人公がメディシングボールをする子どもたちを眺めながら、こんな言葉をつぶやく場面があります。「子どもなんて、このボールのようなものではないだろうか。祖父母の手から父母の手へ、そして次の世代へ…。ボールが自分の手に渡ったら大事に受けとり、大切に渡していくべき存在だ。」教職に就いて数年目だった私は「子どもたちを未来へつなぐ」ことの尊さ、この職のすばらしさをあらためて実感しました。

また、ある新聞記事には、こんな一文がありました。「働くのはおもしろい。いや、おもしろくできる。そして、人間は人生の大半を働いて過ごす。ということは、働くのをおもしろくできた人はハッピーな人だ。ハッピーな人が多い社会は、住みよい社会だ。」これを読んだのは、忙しさに追われ、睡眠負債を抱えていた頃。少し立ち止まり、「自分はハッピーでありたい、だったら仕事とどう向き合う？」と考えさせてくれる言葉でした。

もう一つ、私の支えになってきた言葉があります。「仕事は『楽しい』だけでは物足りない。少し『苦しい』くらいが人を成長させる。『たのくるしい』をめざせ！」若い頃に大先輩からいただいたこの言葉は、ずっと私の胸にあります。いまや私もその先輩の年齢に追いつきましたが、なお「働きたい」の指標であり続けています。

今、執行部の立場でこれらの言葉を見つめ直すと、自分の役割がはっきりします。それは、「子どもを大切に育むために、まず教職員自身がハッピーでいられる環境を整える」こと。執行部としての日々も、まさに「たのくるしい」時間です。そして様々な立場の人と出会い、新しいことを学ぶ時間は、おもしろいものです。この2年間で、私自身をさらに成長させてくれる——そう信じています。



【湘南教組 当面の予定】

日 程	予 定	開始時刻	場 所	対 象
9月23日(火・祝)	さようなら原発全国集会	13:30	代々木公園	希望者
9月29日(月)	第2回女性部委員会	16:15	湘南教育会館	女性部委員
10月7日(火)	鎌倉地域協議会	16:30	ろうきん大船支店	分会長
	藤沢地域協議会	16:15	湘南教育会館	分会長
	茅ヶ崎・寒川地域協議会	16:15	寒川アリーナ	分会長
10月18日(土)	かながわ教育フェスティバル	14:00	Web	分会1名
11月8日(土)	バレーボール湘南大会	決まり次第お知らせします。		対象校
11月13日(木)	湘南中央委員会	16:15	藤沢市民会館小ホール	中央委員
11月22日(土)	神奈川県教職員スポーツ大会 (陸上競技の部)	13:00	大和市スポーツセンター 陸上競技場	希望者
11月22日(土)	湘南地区母と女性教職員の会	14:00	寒川町民センターホール	分会2名+ 希望者

右のQRコードからLINE友だち登録をお願いします。最新情報の発信や、お悩み相談の受付を行っています。全組合員の登録が目標です！

